

報道関係者各位

被災収蔵品レスキューの課題と試行錯誤の過程を振り返る 2020年度 川崎市市民ミュージアム 被災収蔵品レスキューの記録集

—2021年3月31日(水) 当館 HP 特設ページで公開—



川崎市市民ミュージアムは『2020年度 川崎市市民ミュージアム 被災収蔵品レスキューの記録集』を2021年3月31日(水)に公開しました。本記録集は2020年12月の映像公開に続き、プロジェクト『川崎市市民ミュージアム被災収蔵品レスキューの記録』の一環として制作し、同ウェブサイトの特設ページでご覧いただけます。

当館は2019年10月の令和元年東日本台風によって、甚大な被害を受けました。外部支援団体や専門家のご協力をいただきながら、被災した収蔵品の救出作業を進め、2020年6月には地下収蔵庫からの搬出作業を完了しました。現在も被災収蔵品の応急処置から修復に至る活動を続けています。

『2020年度 川崎市市民ミュージアム 被災収蔵品レスキューの記録集』は、レスキュー関係者の寄稿を中心に、被災後の活動の記録をまとめたものです。当館学芸員による寄稿「レスキュー事例集」では、現場で直面した課題を分析し、どのように対処していったのか、事例を基に紹介いたします。映像では掘り下げられなかった部分として、日々のレスキューと情報共有の体制が整うまでの経緯、被災資料の把握作業、応急処置における試行錯誤の過程等を取り上げ、レスキューを多角的に捉えます。

本プロジェクトの公開を通じて、今後も全国で多発することが予想される自然災害に対し、文化財を守り、次世代に継承するための取り組みの一助となることを願い、活動の記録を発信していきます。

『2020年度 川崎市市民ミュージアム 被災収蔵品レスキューの記録集』

<企画・編集> 川崎市市民ミュージアム <編集協力> 独立行政法人国立文化財機構

<URL> <https://www.kawasaki-museum.jp/rescue/booklet/>
(※特設ウェブサイト『川崎市市民ミュージアム被災収蔵品レスキューの記録』内)



※本日付で公開※

『2020年度 川崎市市民ミュージアム 被災収蔵品レスキューの記録集』 (<https://www.kawasaki-museum.jp/rescue/booklet/>)



<表紙>

【目次】

発行にあたって
被災収蔵品レスキューについて
レスキュー活動の主な経過
川崎市市民ミュージアムにおける被災収蔵品レスキューと本格修復の流れ
「外部支援団体、川崎市、川崎市市民ミュージアムの間の情報共有」
レスキュー事例集
「映画フィルムのレスキュー活動における緊急性と初動」
「レスキュー用作品リストの整備とその活用」
「『資料の把握』歴史資料を中心に」
「被災収蔵品の優先順位と紐づけ」
「多様な収蔵品に関するレスキュー活動」
「古文書レスキュー作業の現状と課題」
「写真レスキュー 体制構築と関係者への被災報告、今後の課題」
「技術者と学芸員の橋渡し（調整）、事例紹介」
「情報の共有と簡易日報の作成について」
施設の変化
レスキュー発信プロジェクト事業の紹介
謝辞
被災収蔵品レスキュースタッフ

【企画・編集】川崎市市民ミュージアム

【編集協力】独立行政法人国立文化財機構

プロジェクト『川崎市市民ミュージアム被災収蔵品レスキューの記録』 (<https://www.kawasaki-museum.jp/rescue/>)



本ウェブサイトは2020年12月に公開されました。被災直後から一年間の活動をまとめた映像『川崎市市民ミュージアム 被災収蔵品レスキューの映像記録 —2019.10.12—』の公開をはじめ、『連載企画 川崎市市民ミュージアム被災収蔵品レスキューの記録』では、関係者からのコメントや被災収蔵品への処置の記録を随時更新しています。



施設概要（住所：〒211-0052 神奈川県川崎市中原区等々力 1-2）

川崎市市民ミュージアムは1988年11月に「都市と人間」という基本テーマを掲げて開館した複合文化施設です。

開館以来、常設・企画展や映像上映を始め、コンサートや講座、ワークショップなど様々な事業を行ってきました。

現在は、令和元年東日本台風の被害で施設を休館し、一部の事業を継続しながら、被災収蔵品のレスキュー活動を行っています。

※本リリースに掲載している画像の使用をご希望の場合は下記までご連絡ください

【プレスリリースお問い合わせ】川崎市市民ミュージアム 広報担当

TEL : 044-754-4500（月～土＜祝祭日含む＞ 9:00～17:00） FAX : 044-754-4533

MAIL : pr_kcm@kawasaki-museum.com

HP : <http://www.kawasaki-museum.jp/> * 指定管理者：アクティオ・東急コミュニティー共同事業体